

令和6年度

事業報告書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

学校法人 福岡医療学院

1 法人の概要

(1) 設立の経緯から現在

かつて中国、四国および九州地方には、柔道整復師養成施設がありませんでした。したがって、この地域で柔道整復師を志す人々は、遠方まで行かなければ専門の教育を受けられず、国家試験の受験資格を取得することは困難でした。そこで、この課題解消のため、平成 11 年、西日本で最初の柔道整復師養成施設として、本校の前身である「福岡柔道整復専門学校」が誕生しました。

翌年の平成 12 年に鍼灸科、平成 19 年には理学療法科を設置し、平成 22 年に校名を「福岡医療専門学校」に変更しました。さらに、平成 23 年に診療放射線科と看護科を、令和 5 年に歯科衛生科を新設し、西洋・東洋医学を両方学ぶことができる 6 学科体制が整いました。令和 7 年度からは、柔道整復科Ⅱ部（入学定員 30 名）を午後の時間帯に設置し、鍼灸科や理学療法科と同時受講ができる体制を整備して、より質の高い医療人を輩出することを目指しています。

これまで 26 年間の教育活動の結果、卒業生 6,239 名のうち 6,223 名が医療系国家資格を取得しています。これは卒業生の 99.7%、全国トップレベルの国家試験合格率です。これからも「親が子に残せる唯一の財産は教育である」を教育理念とし、学生一人ひとりを我が子と想い、貴重な財産を後世に残すべく精進してまいります。

(2) 教育理念及び教育目標

教育理念	親が子に残せる唯一の財産は教育である。
教育目標	教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。

(3) 学校法人の沿革

平成 11 年	4 月	学校法人福岡柔道整復専門学校設立
平成 11 年	4 月	柔道整復科設置
平成 12 年	4 月	鍼灸科設置
平成 18 年	4 月	スポーツトレーナー科設置
平成 19 年	4 月	理学療法科設置
平成 20 年	4 月	福岡医療リハビリテーション専門学校 理学療法科設置
平成 21 年	3 月	スポーツトレーナー科廃止
平成 22 年	4 月	学校法人福岡柔道整復専門学校を学校法人福岡医療学院に名称変更
平成 22 年	4 月	福岡柔道整復専門学校と福岡医療リハビリテーション専門学校を統合して福岡医療専門学校に名称変更
平成 23 年	4 月	診療放射線科・看護科設置
平成 26 年	3 月	柔道整復科・鍼灸科・理学療法科の職業実践専門課程認定
平成 27 年	2 月	診療放射線科・看護科の職業実践専門課程認定
平成 28 年	3 月	理学療法科第三者評価適格認定
平成 29 年	3 月	第三者評価適格認定
平成 31 年	1 月	看護科定員変更計画書を福岡県に提出

令和 2 年 4 月 看護科の入学定員を80名に増員
 令和 4 年 2 月 歯科衛生科指定申請書を福岡県に提出
 令和 4 年 3 月 理学療法科第三者評価適格認定
 令和 4 年 11 月 歯科衛生士養成所の指定（令和5年4月1日から適用）
 令和 5 年 1 月 診療放射線科定員変更計画書を福岡県に提出
 令和 6 年 2 月 柔道整復科定員変更計画書（午後30名入学定員増）を福岡県に提出
 令和 6 年 4 月 診療放射線科の入学定員を80名に増員
 令和 6 年 12 月 柔道整復科の定員変更（午後30名入学定員増）が福岡県より承認
 （令和7年4月1日から適用）

（4）設置する学校の概要（令和 6 年 5 月 1 日現在）

名 称 福岡医療専門学校
 所在地 〒814-0005 福岡市早良区祖原 3 番 1 号 電話 092（833）6120
 校 長 藤瀬 武
 教職員 155 名（本務者 69 名、兼務者 79 名、職員 7 名）
 学生数 899 名

課程・学科等

（令和 6 年度）

課程名	学科名	修業年限	入学定員	昼夜間の区別	学級数	総定員
医療専門課程	柔道整復科	3 年	60 名	昼（Ⅰ部） 60 名	2	180 名
医療専門課程	鍼灸科	3 年	60 名	昼（Ⅰ部） 60 名	2	180 名
医療専門課程	理学療法科	4 年	80 名	昼 80 名	2	320 名
医療専門課程	診療放射線科	3 年	80 名	昼 80 名	2	240 名
医療専門課程	看護科	3 年	80 名	昼 80 名	2	240 名
医療専門課程	歯科衛生科	3 年	50 名	昼 50 名	1	150 名

- *1 鍼灸科美容鍼灸・スポーツ鍼灸・スポーツトレーナー 募集人数 25 名
 *2 柔道整復科スポーツトレーナー 募集人数 25 名
 *3 理学療法科スポーツトレーナー 募集人数 25 名

(5) 学納金

区 分	昼夜別	入学検定料 (円)	入学金 (円)	授業料 (円)	施設費 (円)
柔道整復科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000
鍼灸科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000
理学療法科	昼	20,000	200,000	500,000	400,000
診療放射線科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000
看護科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000
歯科衛生科	昼	20,000	200,000	600,000	220,000

(6) 法人の概要（令和6年5月1日現在）

名 称 学校法人 福岡医療学院

代 表 理事長 藤瀬 武

所在地 〒814-0005 福岡市早良区祖原3番1号 電話 092 (833) 6120

理 事 6名（定数6～7名）

理事長 藤瀬 武	理事 藤瀬 敏子
理事 平畑 雅博	理事 長門 俊一
理事 谷口 邦久	理事 田中 正己

監 事 2名（定数2名）

監事 堤田 智	監事 中山 信彦
---------	----------

評議員 15名（定数13～15人）

評議員 藤瀬 武	評議員 藤瀬 敏子	評議員 長門 俊一
評議員 喜多村 伸明	評議員 市原 隆洋	評議員 加藤 健一
評議員 滝沢 裕子	評議員 風間 賢剛	評議員 松山 基博
評議員 永村 典子	評議員 牛尾 健介	評議員 石橋 大輔
評議員 瀬戸山 美和	評議員 竹下 政雄	評議員 本川 渉

2 事業の概要

令和6年度の重点目標を以下の3つに定め事業を行いました。

○ 教育活動

知識・技術・人間性を備え、多職種連携ができる質の高い医療人を養成する。

○ 実践的な職業教育

医療機関等と連携した実践的な職業教育を行い、国家試験全員合格を目指す。

○ W受講制度の整備

令和7年4月に柔道整復科Ⅱ部（午後、入学定員30名）を設置し、複数学科を同時受講できる体制を整備する。

（1）教育活動

ア 国家試験の結果

令和6年度国家試験合格率は、理学療法士100%で全国第1位、診療放射線技師97.1%、看護師95.9%、柔道整復師97.2%、はり師97.7%、きゅう師97.7%でした。全ての資格において、昨年度の合格率を上回りました。

令和6年度 国家試験結果

資 格	受験者数	合格者数	合格率 (%)	全国合格率 (%)
理学療法士	56	56	100	89.6
診療放射線技師	34	33	97.1	84.7
看護師	49	47	95.9	90.1
柔道整復師	36	35	97.2	57.8
はり師	44	43	97.7	73.9
きゅう師	44	43	97.7	74.9

JATI*	38	37	97.4	非公表
-------	----	----	------	-----

*日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者

イ 特記事項

教育課程の編成・実施方針については、教育理念に沿いながら、行政制度の改正やテクノロジーの進歩等の社会情勢の変化に対応して見直しを行いました。

今年度はカリキュラム改正を実施した他、複数学科による多職種連携授業、学年間交流授業、業界役員や海外で活躍する医療人による特別講義等を実施しました。Google Formを活用した授業評価アンケートを継続し、学生・教員双方の利便性を図るとともに教育の質の向上に努めました。

国家資格以外にも、職業に関連した民間資格（運動指導、美容、放射線取扱他）のセミナー等を開催しました。教員に対しても、学科や分掌を越えた交流ができる環境を構築し、幅広い視点やマルチタスクスキルを身に付けることを支援しました。

ウ 就職状況

近年、オンラインを用いた企業説明会や面接実施もあるため、それらに対応したプログラムを導入し、学生が新たな就職環境に対応できるようサポートを強化しました。就職は九州圏だけでなく、関西・関東圏への数も増加しました。学生支援課ならびに担任を軸に、ひとり一人の希望を叶えるため、きめ細かいサポートを行った結果、下表のとおり、多くの学生が希望とする就職を果たすことができました。

① 求人倍率（令和6年度卒業生）

理学療法科	60.0 倍
診療放射線科	9.9 倍
看護科	181.1 倍
柔道整復科	48.0 倍
鍼灸科	23.3 倍

② 就職先

学科	就職先
理学療法科	秋山クリニック、秋吉整形外科、いしばし整形外科、おおぞら病院、貝塚病院、熊本託麻台リハビリテーション病院、久留米大学病院、江東リハビリテーション病院、高良台リハビリテーション病院、古賀病院 21、小倉リハビリテーション病院、済生会唐津病院、桜十字大手門病院、桜十字福岡病院、佐世保中央病院、舌間整形外科、原宿リハビリテーション病院、新吉塚病院、杉村病院、誠愛リハビリテーション病院、タケダスポーツ・ビューティークリニック、筑紫南ヶ丘病院、田園調布中央病院、那珂川病院、西福岡病院、脳神経リハビリ北大路病院、博愛会病院、白十字リハビリテーション病院、原三信病院、原宿リハビリテーション病院、原土井病院、パル、福岡県済生会飯塚嘉穂病院、福岡ハートネット病院、福岡リハビリテーション病院、福西会病院、別府医療センター、まつもと整形外科クリニック、水戸病院、牟田病院、村上記念病院、諸岡整形外科病院、米盛病院、M スポーツ整形外科クリニック
診療放射線科	今村病院、上村病院、大手町病院、金沢病院、北九州市立病院機構、久留米大学病院、五反田病院、田主丸中央病院、戸畑共立病院、長崎大学病院、新座志木中央総合病院、脳神経筋センターよしみず病院、博多メディカルクリニック、東川口病院、一橋病院、平戸市病院事業職員、福岡病院、福岡新水巻病院、福岡和白病院、もろどみ中央病院、山元記念病院

看護科	ガーデンヒルズウィメンズクリニック、岸和田徳洲会病院、済生会唐津病院、佐田整形外科病院、東京西徳洲会病院、戸田中央総合病院、千葉愛友会記念病院、西福岡病院、のぞえ総合心療病院、白十字病院、原三信病院、福岡記念病院、福西会病院、福西会南病院、牟田病院、諸岡整形外科病院、横須賀共済病院、横浜市立大学附属病、TMG あさか医療センター
柔道整復科	市川整骨院、いつつぼし整骨院、伊都整骨鍼灸院、甲斐整骨院、介正鍼灸整骨院、からだコンディショニングふくおか整骨院、堺整骨院、つながり整骨鍼灸院、徳田整骨院、ながとも整骨院、名倉堂接骨院・鍼灸院、ふるかわ整骨院、ふるかわ整骨院グループ、まつなが整骨院、松山整骨院、モアはりきゅう整骨院、よし姿勢&スポーツ整骨院、ReCORE 鍼灸接骨院
鍼灸科	いまはやし鍼灸整骨院、えーる鍼灸治療院、en 婦人科クリニック、おかげ整体院、甲斐整骨院、株式会社スマイルケア、からだ元気治療院、きよた鍼灸院、堺整骨院、東雲鍼灸治療院、杉本はりきゅう整骨院、スポーツデポ、高宮鍼灸整骨院、たなか整骨院、中央整骨鍼灸院、つむぎ整骨院・鍼灸院、西新キュアラボ、パーソナル鍼灸 pint、はる整骨院、ひまわり鍼灸整骨院、ビューティーサロンエクラ美容鍼灸ハリッチ、広島治療院、フジヤマ整骨院、ふるかわ整骨院、別府はり灸整骨院、訪問マッサージこころ在宅ケア、松本鍼灸整体療院、マルシン薬局、やすまる整骨院、りきたけ整骨院

(2) 実践的な職業教育

多彩な医療専門職と協働しながら、患者の病態やニーズに柔軟かつ的確に対応できる人材を育成するため、全学科において他学科と連携した多職種連携教育を推進しました。今年度は、1年生の早い段階から多職種連携教育を導入しました。学生からの評価は概ね良好だったので、来年度も一層推進していく予定です。

今年度より歯科衛生科の臨床実習が始まり、全6学科において臨床実習が実施されました。教育課程編成委員会における外部委員の意見を活用しながら、専門学校教育の特徴である実践的な職業教育を推進していきます。

(3) W受講制度の整備

令和6年12月2日に、令和7年4月より柔道整復科Ⅱ部（午後、入学定員30名）を設置することが福岡県から承認されました。これにより、鍼灸科と柔道整復科、並びに理学療法科と柔道整復科を同時期に受講できる体制ができました。関係者からの期待はとて高く、柔道整復科、鍼灸科、理学療法科の3学科の受験者数は昨年度より大幅に増加しました。

3 財務の概要

(1) 経年比較

① 貸借対照表

(単位 円)

科目	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
固定資産	6,384,359,006	6,416,135,778	6,370,888,139
流動資産	5,050,189,897	5,348,902,344	5,783,385,428
資産の部合計	11,434,548,903	11,765,038,122	12,154,273,567
固定負債	253,239,907	259,023,785	266,812,413
流動負債	1,023,568,136	1,050,844,011	1,141,292,200
負債の部合計	1,276,808,043	1,309,867,796	1,408,104,613
基本金	7,536,946,646	7,670,956,172	7,731,204,088
繰越収支差額	2,620,794,214	2,784,214,154	3,014,964,866
純資産の部合計	10,157,740,860	10,455,170,326	10,746,168,954
負債及び純資産の部合計	11,434,548,903	11,765,038,122	12,154,273,567

② 資金収支計算書

(単位 円)

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,363,996,000	1,265,525,277	1,314,631,140
手数料収入	18,238,900	15,591,900	16,816,700
寄付金収入	0	0	13,877,609
補助金収入	28,763,000	29,474,012	28,810,730
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	21,712,331	21,623,168	24,259,101
受取利息・配当金収入	40,524	43,327	2,582,858
雑収入	2,275,068	2,411,327	2,363,926
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	940,065,000	967,600,550	1,054,680,000
その他の収入	480,879,384	453,385,664	469,105,647
資金収入調整勘定	△ 1,016,745,000	△ 940,065,000	△ 967,600,550
前年度繰越支払資金	4,901,519,465	5,035,048,782	5,340,265,583
収入の部 合 計	6,740,744,672	6,850,639,007	7,299,792,744
支出の部			
人件費支出	585,853,908	596,127,210	602,795,149
教育研究経費支出	267,435,273	258,784,777	293,020,662
管理経費支出	67,673,392	74,310,926	103,243,442
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	154,759,408	116,832,865	49,011,160
設備関係支出	123,552,156	17,176,661	11,236,756
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	529,923,116	477,692,692	493,383,039
資金支出調整勘定	△ 23,501,363	△ 30,551,707	△ 27,564,289
翌年度繰越支払資金	5,035,048,782	5,340,265,583	5,774,666,825
支出の部 合 計	6,740,744,672	6,850,639,007	7,299,792,744

③ 事業活動収支計算書

(単位 円)

科目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	1,363,996,000	1,265,525,277	1,314,631,140
	手数料	18,238,900	15,591,900	16,816,700
	寄付金	0	0	13,877,609
	経常費等補助金	28,763,000	29,474,012	28,810,730
	付随事業収入	21,712,331	21,623,168	24,259,101
	雑収入	2,275,068	2,411,327	2,363,926
	教育活動収入計	1,434,985,299	1,334,625,684	1,400,759,206
	事業活動支出の部			
	人件費	589,885,317	601,911,088	610,583,777
	教育研究経費	362,183,851	360,809,239	398,307,888
	管理経費	68,451,289	74,519,218	103,451,771
	徴収不能額等	0	0	0
教育活動外収支	教育活動支出計	1,020,520,457	1,037,239,545	1,112,343,436
	教育活動収支差額	414,464,842	297,386,139	288,415,770
	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	40,524	43,327	2,582,858
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	40,524	43,327	2,582,858
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
特別収支	教育活動外収支差額	40,524	43,327	2,582,858
	経常収支差額	414,505,366	297,429,466	290,998,628
	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部			
	資産 処分 差額	231,456	0	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	231,456	0	0
	特別収支差額	△ 231,456	0	0

基本金組入前当年度収支差額	414,273,910	297,429,466	290,998,628
基本金組入額合計	△ 293,912,692	△ 134,009,526	△ 60,247,916
当年度収支差額	120,361,218	163,419,940	230,750,712
前年度繰越収支差額	2,500,432,996	2,620,794,214	2,784,214,154
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	2,620,794,214	2,784,214,154	3,014,964,866

以 上